

たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

校歌

船穂小学校の校歌は昭和36年11月に制定されたもので、「ぶどうが実る 丘の上」「若あゆおどる 高粱の」などと、校区の景観を格調高く表現したもので、當田先生によると、高音部が多く、歌うにも伴奏するにも結構難しいそうです。

私が通った池田小学校の校歌は、「行く手は遠し学の道 友と互いに睦み合い 各が向き向き励みつつ 未来に強く生き抜こう」など、教育の目的を表現したものでした。となりの二万小学校の校歌は「歴史は薫る二万塚に 山頂の開墾に ああ眉あげて 見晴るかす 水島灘や瀬戸の海 理想は高く意志強く」など、子どもたちを励ますものでした。

船穂小学校の校歌は、このような強いメッセージ性はありませんが、「ゆめもふくらむ 背も伸びる」「はずむうたごえ 笑い声」など、学校のめざす姿を一番も二番も三番も表現しています。そして、特徴的なことは、一番から三番まで最後のフレーズが「たのしいたのしい 船穂校」だということです。一番で「たのしいたのしい」としたのなら、二番は「明るい明るい」、三番は「やさしいやさしい」と変えるのが普通です。一番も二番も三番も「たのしいたのしい」なのは、作詞者の強い気持ちが表現されているからだと思います。学校は、楽しくなければならぬ。子どもたちが楽しいと思えてこそ学校だと主張しているようにも思えます。

じつは、この校長だよりも、校歌のように楽しい学校にしたいという気持ちをこめて、「たのしいたのしい 船穂校」という名前にしました。そして、子どもたちはどんなときに楽しいと思うだろうかと考え、「わかった できた 友だちといるっていいな」と子どもたちが実感できる学校をめざして、子どもたちと先生方といっしょにがんばっています。くわしくは、4月24日のページをみてください。

<p>三、 西を望めば 遙照の 峰に希望の 雲がわく ああなごやかな 学びやに はずむうたごえ 笑い声 たのしいたのしい 船穂校</p>	<p>二、 若あゆおどる 高粱の ゆたかな流れ 陽の光 ああ清らかな 学びやに すくすく育つ このからだ たのしいたのしい 船穂校</p>	<p>一、 ぶどうが実る 丘の上 藺草を渡る 青い風 ああさわやかな 学びやに ゆめもふくらむ 背も伸びる たのしいたのしい 船穂校</p>
--	---	--

校歌

大岩徳二 作詞
野上義臣 作曲

